

## 「T細胞性急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫に対する nelarabine 投与後同種造血幹細胞移植の有効性と安全性の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

関東造血幹細胞移植グループ（KSGCT）参加施設において、T細胞性急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫(T-ALL/LBL)に対して、2010年1月1日～2023年12月31日の期間で同種造血幹細胞移植(allo-SCT)を行った、移植時に16歳以上の患者さん

#### 2. 研究の目的

本研究では、同種造血幹細胞移植前 nelarabine 投与が移植後神経学的有害事象の発症率、および移植成績に与える影響を検討します。従来の解析では個別に評価されていた、化学療法、nelarabine の投与方法、移植方法を総合的に解析することにより、T-ALL/LBL の至適移植方法の確立を目的としています。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～ 2027年 12月 31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年 5月 7日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

診療情報（移植前治療の内容、

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センター血液内科において、研

究責任者である永沼 謙が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

## 2. 試料・情報の取得方法

T-ALL/LBL と診断された患者さんの通常診療時に実施した検査データおよび診療記録等を用います。

## 3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)

URL <https://www.ksgct.net/>

## 4. 試料・情報の管理責任者

<提供先機関> 関東造血幹細胞移植共同研究グループ(KSGCT)データセンターへ  
東京都立駒込病院 血液内科

<提供元機関> 埼玉医科大学総合医療センター 病院長 別宮好文

## 5. 試料・情報の提供方法等について

<情報> 紙媒体の二次調査票を KSGCT データセンターへ郵送

### お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

### 《当院連絡先》

埼玉医科大学総合医療センター 血液内科

住所：〒350-8550 川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3471（土日祝日を除く 10：00～16：00）

担当：永沼 謙

○研究課題名：T細胞性急性リンパ性白血病/リンパ芽球性リンパ腫に対する nelarabine 投与後同種造血幹細胞移植の有効性と安全性の検討

○研究全体責任者：都立駒込病院 血液内科 清水啓明